令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	電気回路	単位数	２	学年	２	科	電気科

１、科目の目標

交流回路に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

２、使用教科書・副教材

教科書　電気回路２（オーム社）

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	＜記号法＞ ・記号法による計算 ・正弦波交流の基礎回路	中間考査 期末考査	２０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	・各種組み合わせ回路と交流回路の電力 ＜三相交流＞ ・三相交流の性質 ・三相交流の計算 ・三相電力と力率 ・回転磁界	中間考査 期末考査	２８
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	＜電気計器＞ ・測定器の取り扱い、原理と構造、測定方法 ＜各種の波形＞ ・非正弦波交流、パルス波	学年末考査	２２

４、評価の方法

学習評価	学習の成果	定期テストの得点を評価する。	
		Google Classroom を利用した課題への取り組み状況と、成果を評価する。	
		ノートおよび学習ファイル等を提出し、その内容を評価する。	
	観点別評価	観点⑴：知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」Ｅ７による。
		観点⑵：思考・判断・表現を評価する。	
		観点⑶：主体的に学習に取り組む態度を評価する。	

５、学習にあたっての注意とアドバイス

授業中に集中して取り組み、疑問点については早めに解決するように配慮する。
自学自習、基礎計算力を大切にする。ノートの取り方、整理等の努力ある姿勢も評価する。
協働学習を通じて対話的な学びを行い、主体的に課題解決できる能力を身に付ける。